



2021年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2020年11月11日

東

上場会社名 大伸化学株式会社 上場取引所
 コード番号 4629 URL <http://www.daishin-chemical.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 堀越 進
 問合せ先責任者 (役職名) 経営企画室長 (氏名) 山口 利美 (TEL) 03-3432-5872
 四半期報告書提出予定日 2020年11月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第2四半期の業績(2020年4月1日~2020年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	12,434	△13.1	1,149	36.0	1,169	34.7	793	32.1
2020年3月期第2四半期	14,309	△2.0	845	93.3	868	90.8	601	101.7
	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益					
	円 銭		円 銭					
2021年3月期第2四半期	173.52		—					
2020年3月期第2四半期	131.39		—					

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第2四半期	20,338	13,615	66.9
2020年3月期	20,606	12,957	62.9

(参考) 自己資本 2021年3月期第2四半期 13,615百万円 2020年3月期 12,957百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	0.00	—	37.00	37.00
2021年3月期	—	0.00	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	—	—	32.00	32.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 2020年3月期期末配当金の内訳 普通配当 30円00銭 特別配当 7円00銭

3. 2021年3月期の業績予想(2020年4月1日~2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	25,511	△9.1	1,712	11.3	1,744	10.6	1,184	6.8	258.78

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、8ページ「2. 四半期財務諸表及び主な注記 (4) 四半期財務諸表に関する注記事項」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2021年3月期2Q	4,592,000株	2020年3月期	4,592,000株
------------	------------	----------	------------

② 期末自己株式数

2021年3月期2Q	16,799株	2020年3月期	16,744株
------------	---------	----------	---------

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

2021年3月期2Q	4,575,248株	2020年3月期2Q	4,575,280株
------------	------------	------------	------------

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、当社が現時点で入手可能な情報をもとに行った見込みであり、今後の経済情勢、事業運営における様々な状況変化によって、実際の業績と異なる場合があります。なお、上記予想に関する事項は添付資料の3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	8
(追加情報)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により個人消費や企業活動が著しく制限され景気は急速に悪化しました。

緊急事態宣言の解除後は、ある程度の経済活動の再開はあったものの、引き続き第二波による経済への影響が懸念され、景気は先行き不透明な状態が続いています。

当社が主として関連する塗料業界におきましては、こうした経済環境のもと、出荷数量は減少いたしました。

このような情勢のもとで、当社における当第2四半期累計期間の製品出荷数量は、73,290トン(前年同期比9.7%減)となりました。

当第2四半期累計期間の業績といたしましては、売上高は新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、エタノール関連製品の出荷は増加いたしましたが、自動車関係等の製品出荷数量が回復しつつあるものの前年に比べて減少したことに加えて、国内の原油・ナフサ市況が前年に比べて低水準で推移したことにより販売単価が下降したため、124億34百万円(同13.1%減)と減収となりました。

主な品目別の売上高は、ラッカーシンナー類が3億9百万円(同17.5%減)、合成樹脂塗料用シンナー類が2億50百万円(同19.4%減)、洗浄用シンナー類が7億3百万円(同25.3%減)、印刷用溶剤類が22億35百万円(同10.0%減)、特殊シンナー類が12億16百万円(同24.1%減)、単一溶剤類が50億63百万円(同15.9%減)、塗料・その他が12億34百万円(同51.0%増)、単一溶剤を中心とした商品が14億21百万円(同19.0%減)となりました。

利益面につきましては、一部の原料が前年に比べて低水準で推移したことや、原料市況に対応した効率的な原材料購入を引き続き推進した結果、営業利益11億49百万円(同36.0%増)、経常利益11億69百万円(同34.7%増)、四半期純利益7億93百万円(同32.1%増)と、いずれも増益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期会計期間末の総資産は、203億38百万円(前事業年度末比2億68百万円減)となりました。これは主に、現金及び預金の増加(同5億20百万円増)等があったものの、受取手形及び売掛金の減少(同10億20百万円減)等があったことによるものであります。

負債総額は、67億22百万円(前事業年度末比9億26百万円減)となりました。これは主に、短期借入金の増加(同2億40百万円増)等があったものの、支払手形及び買掛金の減少(同9億85百万円減)等があったことによるものであります。

純資産は、136億15百万円(前事業年度末比6億57百万円増)となりました。これは主に、利益剰余金の増加(同6億24百万円増)等があったことによるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前事業年度末に比べて5億20百万円増加し、42億38百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間において営業活動の結果得られた資金は、8億21百万円(前年同期は18億35百万円の収入)となりました。これは主に、税引前四半期純利益の計上11億69百万円、減価償却費の計上1億64百万円、売上債権の減少10億62百万円等があったものの、仕入債務の減少9億85百万円、法人税等の支払額3億21百万円等があったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間において投資活動の結果使用した資金は、2億88百万円(前年同期は1億3百万円の収入)となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出1億87百万円等があったことによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期累計期間において財務活動の結果使用した資金は、11百万円（前年同期は1億44百万円の支出）となりました。これは主に、短期借入金の純増額2億40百万円があったものの、長期借入金の返済による支出81百万円、配当金の支払額1億69百万円等があったことによるものであります。

（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の業績予想につきましては、当第2四半期累計期間の業績修正を踏まえ、2020年5月14日の決算短信で公表いたしました、第2四半期及び通期の業績予想を修正しております。

詳細につきましては、2020年10月23日に公表しました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2020年3月31日)	当第2四半期会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,471,724	4,992,666
受取手形及び売掛金	8,290,180	7,270,112
電子記録債権	1,662,646	1,620,093
商品及び製品	150,526	178,026
原材料及び貯蔵品	627,993	631,074
その他	138,942	173,618
貸倒引当金	△7,972	△3,479
流動資産合計	15,334,042	14,862,110
固定資産		
有形固定資産	4,137,719	4,222,852
無形固定資産	72,252	75,142
投資その他の資産		
その他	1,083,439	1,203,376
貸倒引当金	△20,487	△25,337
投資その他の資産合計	1,062,952	1,178,038
固定資産合計	5,272,924	5,476,033
資産合計	20,606,966	20,338,144
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,662,206	4,676,341
短期借入金	—	240,000
1年内返済予定の長期借入金	163,600	149,400
未払法人税等	350,517	395,541
賞与引当金	145,830	143,040
役員賞与引当金	50,000	—
その他	767,225	647,535
流動負債合計	7,139,379	6,251,858
固定負債		
長期借入金	252,600	185,000
退職給付引当金	142,259	160,806
役員退職慰労引当金	100,675	109,350
その他	14,200	15,400
固定負債合計	509,734	470,556
負債合計	7,649,114	6,722,414

(単位：千円)

	前事業年度 (2020年3月31日)	当第2四半期会計期間 (2020年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	729,000	729,000
資本剰余金	675,537	675,537
利益剰余金	11,573,599	12,198,221
自己株式	△12,442	△12,519
株主資本合計	12,965,694	13,590,239
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△7,842	25,490
評価・換算差額等合計	△7,842	25,490
純資産合計	12,957,852	13,615,730
負債純資産合計	20,606,966	20,338,144

(2) 四半期損益計算書

第2四半期累計期間

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)
売上高	14,309,708	12,434,671
売上原価	11,677,883	9,796,050
売上総利益	2,631,825	2,638,621
販売費及び一般管理費	1,786,732	1,489,294
営業利益	845,093	1,149,326
営業外収益		
受取利息	172	270
受取配当金	11,708	11,153
保険返戻金	9,649	111
その他	10,597	11,614
営業外収益合計	32,127	23,149
営業外費用		
支払利息	1,624	1,879
手形売却損	1,356	859
社債利息	493	—
保険解約損	5,177	—
その他	73	—
営業外費用合計	8,726	2,739
経常利益	868,495	1,169,737
特別利益		
固定資産売却益	724	149
投資有価証券売却益	22,749	427
特別利益合計	23,474	577
特別損失		
固定資産売却損	121	271
固定資産除却損	220	815
特別損失合計	341	1,087
税引前四半期純利益	891,627	1,169,227
法人税等	290,492	375,321
四半期純利益	601,135	793,906

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	891,627	1,169,227
減価償却費	151,024	164,041
売上債権の増減額(△は増加)	1,716,334	1,062,621
たな卸資産の増減額(△は増加)	130,395	△30,580
仕入債務の増減額(△は減少)	△940,666	△985,865
その他	27,632	△245,983
小計	1,976,349	1,133,460
利息及び配当金の受取額	11,880	11,423
利息の支払額	△2,118	△1,879
法人税等の支払額	△150,317	△321,975
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,835,793	821,028
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△87,722	△187,555
有形固定資産の売却による収入	3,908	928
無形固定資産の取得による支出	△4,584	△20,797
投資有価証券の取得による支出	△62,698	—
投資有価証券の売却による収入	29,134	7,823
貸付けによる支出	—	△50,000
貸付金の回収による収入	1,330	2,530
保険積立金の積立による支出	△33,862	△42,276
保険積立金の解約による収入	262,368	311
差入保証金の差入による支出	△225	△60
差入保証金の回収による収入	953	170
その他	△4,800	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	103,801	△288,926
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	120,000	240,000
長期借入金の返済による支出	△91,800	△81,800
社債の償還による支出	△35,000	—
自己株式の取得による支出	—	△76
配当金の支払額	△137,258	△169,284
財務活動によるキャッシュ・フロー	△144,058	△11,161
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,795,536	520,941
現金及び現金同等物の期首残高	1,535,154	3,717,724
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,330,691	4,238,666

（４）四半期財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）

（税金費用の計算）

当事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

（セグメント情報等）

当社の事業は、シンナー製造業の単一セグメントであるため、記載は省略しております。

（追加情報）

前事業年度の有価証券報告書の（追加情報）「新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う会計上の見積りについて」に記載した新型コロナウイルス感染症の今後の広がり方や収束時期等を含む仮定について重要な変更はありません。